

【参考】災害廃棄物対策タイムライン(例)

※「災害廃棄物対策指針(改訂版) 平成30年3月 環境省環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室」を改変

区分		初動期	応急対応(前半)	応急対応(後半)	復旧・復興	
		発災後数日間	～3週間程度	～3ヵ月程度	～3年程度	
生活ごみ・避難所ごみ・仮設トイレ等のし尿処理	避難所ごみ等生活ごみ	一般廃棄物処理施設等の被害状況の把握				
		稼働可能炉等の運転・緊急処理の受入 / 補修体制の整備・必要資機材の確保		・補修・再稼働の実施		
		避難所ごみ等生活ごみの収集状況の把握・保管場所の確保		・収集運搬・処理体制の確保 / 処理施設の状況に合わせた分別区分の決定		
		感染性廃棄物への対策 / 収集運搬・中間処理・最終処分の実施				
	仮設トイレ等し尿処理	仮設トイレ等(簡易トイレを含む。)の確保 / トイレに係る資材の確保 / 仮設トイレ等の必要数の把握 / し尿の収集運搬体制の確保(し尿収集運搬計画の策定等)				
		仮設トイレ等の設置・管理 / し尿の収集運搬処理の実施		・仮設トイレ等の使用方法・維持管理方法等についての指導・周知啓発		・下水道復旧・避難所閉鎖に伴う撤去
		し尿処理施設・下水道処理施設の被災状況の把握 / し尿処理運搬業者の被災状況の把握				
		し尿処理受入れ施設の確保・緊急処理受入		・被災施設の補修体制の整備・必要資機材の確保		
災害廃棄物処理	組織体制等	組織体制の整備(専属組織の設置を含む。)				
		被害状況等の情報の把握				
		・災害廃棄物発生量の推計の開始 / 災害廃棄物処理の進捗管理・課題抽出・評価の開始				
		災害廃棄物処理実行計画の策定 → 処理方針の策定 → 処理フローの作成 → 処理スケジュールの検討				
		処理主体の決定・事務委託				
	解体・撤去	通行障害等に係る優先撤去(自衛隊・警察・消防等との連携)				
		・倒壊の危険性が高い建物の優先撤去		・解体を要する建物の解体の実施		
	有害廃棄物・危険物対策	有害廃棄物等への配慮				
		・有害廃棄物の所在・発生量の把握 / 処理先の確定 / 撤去作業の安全確保 / PCB、TCE(テトラクロロエチレン)、フロン等の優先回収				
	収集運搬	災害廃棄物の収集運搬体制の確保 / 災害廃棄物の収集運搬の実施(住民・ボランティアへの情報提供、ボランティアとの連携等を含む。)				
		・広域処理に係る体制の確立				
	仮置場	仮置場の確保(候補地の選定 / 受入に係る合意等)		・仮置場の設置・運営管理(火災防止対策 / 飛散・漏水防止対策を含む。)		・仮置場の集約
		仮置場の環境モニタリングの実施(特に、石綿モニタリングは初動時に実施することが重要) / 悪臭・害虫防止対策				・土壌調査
	分別・処理・再資源化	被災自動車、船舶等の移動(道路上等は早期に実施) / 腐敗性廃棄物の優先的処理(1か月以内)				・廃自動車、漁網等の処理先の確保
		仮設処理施設(選別・粉碎・焼却施設)の必要性の検討		・仮設処理施設の設置・管理運営 / 廃棄物の選別・破碎・焼却・再資源化の実施		・仮設処理施設の解体・撤去
		広域処理の必要性の検討		・広域処理の実施		
	広報等	解体・撤去等、各種相談窓口の設置				・相談情報の管理
住民への広報・啓発の準備・実施						